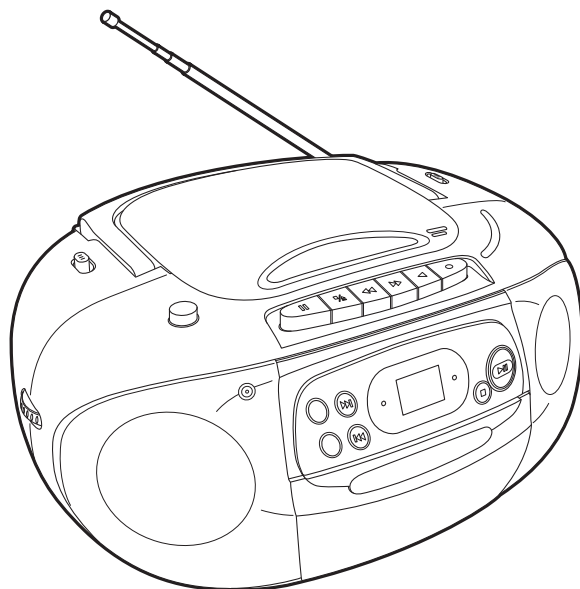


取扱説明書 (保証書別途添付)

このたびはサウンドルックCDステレオラジカセをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3	マイクの使いかた	12
お使いになる前に	4	他の機器とのつながりかた	12
各部のなまえ	5~6	お手入れのしかた	13
CDを聴くには	7~8	仕様	13
ラジオを聴くには	9	故障かな?と思われたときは	14
テープを聴くには	10	アフターサービスについて	15
録音するには	11	お客様相談窓口	15

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。



警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



機器内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず販売店にご相談ください。



機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因になります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

交流100V以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

**本体の通風孔、カセットテープの挿入口などから金属類
や燃えやすいものを差し込んだりしない**

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない**

コードが破損して火災・感電の原因となります。

**電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の
下敷きにならないようにする**

コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いもの
のをのせてしまうことがあります。



**雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない
また屋外で使用しない**

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。

改造はしない

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。

修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社
「修理センター」にご相談ください。

⚠ 注意

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

機器の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。直射日
光の当たる高温の自動車内には置かないでください。

⚠ 注意

	電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。
	指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない 乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
	レーザー光線をのぞき込まない（CD部） レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
	テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する接続は指定のコードを使用する
	電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 
	乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる 乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
	旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく 火災の原因となることがあります。 
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う 感電の原因となることがあります。
	長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく 乾電池の液漏れで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。
	持ち運びするときは、アンテナをたたむ 伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかりたり、当たるなどしてケガの原因となることがあります。 
	幼児がカセットテープ挿入口に、手を入れないように注意する ケガの原因となることがあります。

お使いになる前に

CDについて

●CDの種類

-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク (ファイナライズされたもの※) を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

●CDの取り扱い



※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※再生面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。

ご注意

円形以外 (ハート型など特形状) のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

使用・保管場所について

次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
- ちりやほこりなどの多い場所
- 風呂場など湿気が多い場所
- テレビやチューナーなどのそばでCDプレーヤーを演奏すると、雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。また、レンズにさわらないようにしてください。

結露について

- CDプレーヤーのレンズが結露したり、水滴がついたままになっていると正しく演奏できない場合があります。
- 暖房直後の部屋、湯気や湿気の多いところ、寒い場所から急にあたたかいところに移動したときなどは、電源を入れ1~2時間たってから使うようにしてください。

お願い

- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近付けないでください。
- 本体の分解改造は絶対にしないでください。

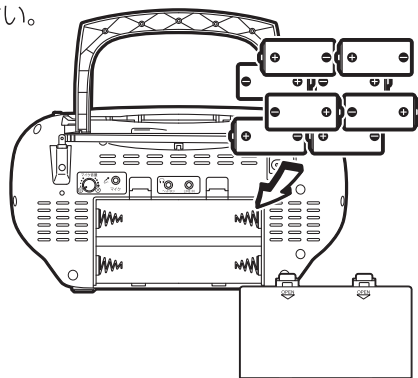
乾電池で使うには

単1形アルカリ乾電池 8本 (別売) を極性 (+, -) を間違えないように入れてください。

- 乾電池の交換目安
CDやテープが正常に動作しない・音が小さい・雑音が多いときは乾電池の取替え時期です。
新しい乾電池と取り替えてください。

ご注意

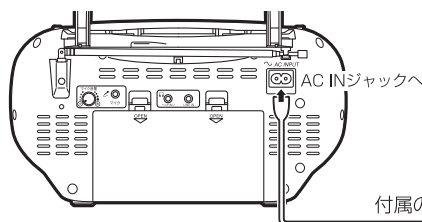
- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
- 通電状態で長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 長時間使用しないときや、いつも家庭用コンセントで使用するときは、乾電池を取り出しておいてください。
 - 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。



家庭用電源で使うには

ご注意

乾電池で使用するときはAC INジャックから電源コードを抜いてください。電源プラグが接続されていると、乾電池では使えません。



家庭用電源コンセント
AC100V

電源プラグ

付属の電源コード

付属の電源コードはSAD-4928専用です。他の製品には使用しないでください。

各部のなまえ

ロッドアンテナ

CDドア

「重低音」ボタン

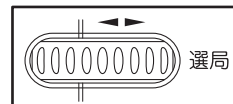
(“入”にすると低音が強調されます。)

「バンド」スイッチ

ダイヤル目盛

「ファンクション」スイッチ

選局ダイヤル



スピーカー

「あける」ボタン

音量ダイヤル

大
↑
小
↓

スピーカー

内蔵マイク

カセットホルダー

CDディスプレイ

裏面

ハンドル

マイク音量つまみ

マイク端子

ヘッドホン端子

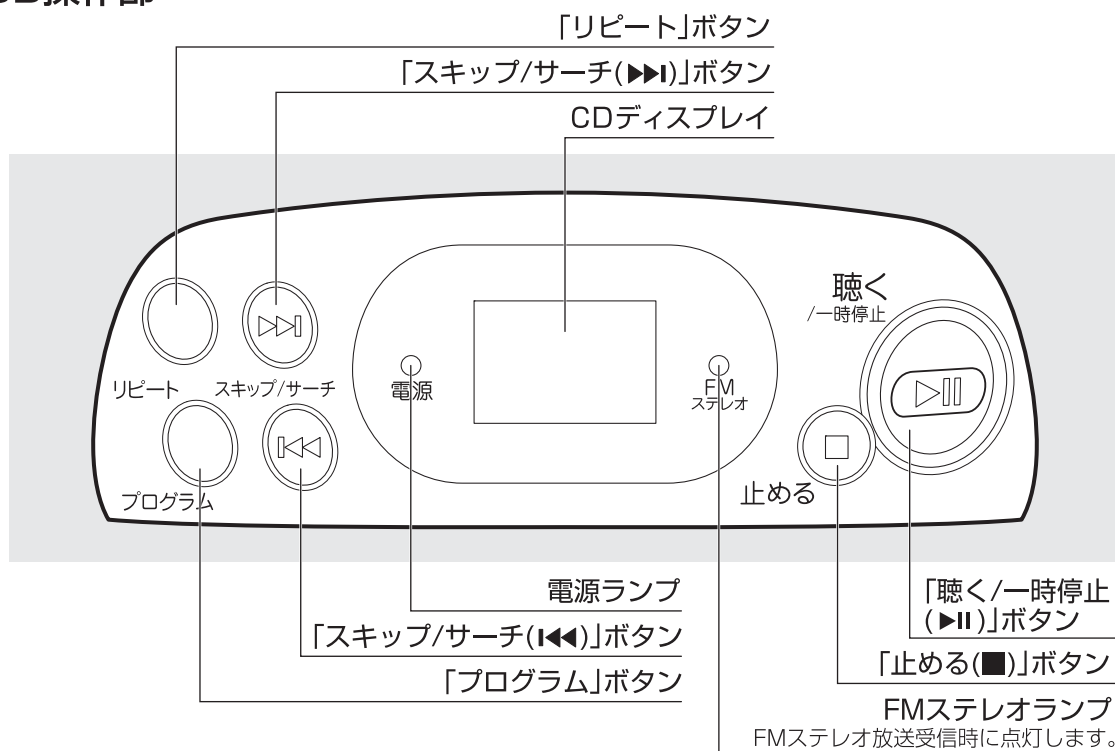
(市販のヘッドホンをつなぎます。)

LINE IN 端子

AC IN ジャック
(電源コード差入口)

電池ふた

CD操作部



テープ操作部



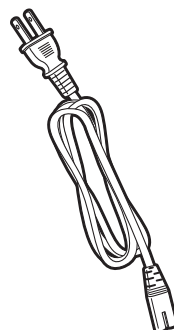
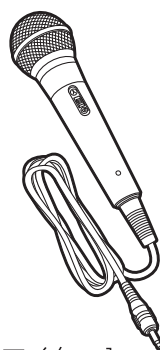
付属品



取扱説明書 × 1



保証書 × 1

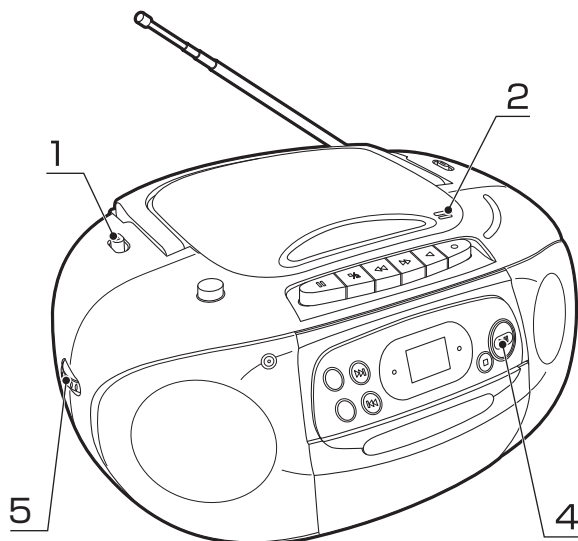


CDを聴くには

ご注意

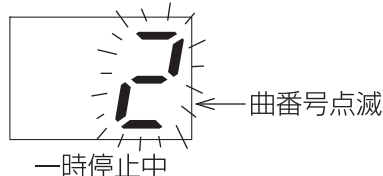
CDドア内部に、CDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前には保護シートを取り除いてください。

1	「ファンクション」スイッチを「CD」にする。
2	「あける」ボタンでCDドアを開けディスクを入れる。
3	CDドアを閉じる。 総曲数が表示されます。
4	CD操作部の「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。 1曲目から演奏が始まります。
5	音量ダイヤルで音量を調節する。



- CDシングルもそのまま使えます。
- 演奏を止めるにはCD操作部の「止める(■)」ボタンを押します。
(一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押します。曲番号が点滅します。もう一度押すと演奏に戻ります。)
- 聴き終わったら「ファンクション」スイッチを「テープ 電源切」にして電源を切ります。

《CDディスプレイ》



曲の頭を探す(スキップ)

- CD演奏中に「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。
「◀◀」・・・演奏中の曲の頭に戻る
(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る)
「▶▶」・・・次の曲の頭に進む。
- 演奏していない、または一時停止中に曲を探す。
「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。
1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。
聴きたい曲の番号を選んだら、
「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻しをするには

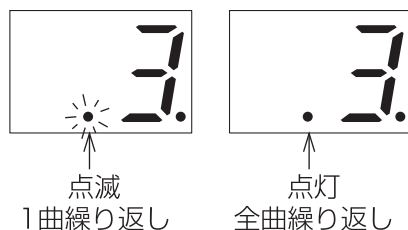
- 早送り
演奏中に「スキップ/サーチ(▶▶)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- 早戻し
演奏中に「スキップ/サーチ(◀◀)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

リピート演奏

演奏中に「リピート」ボタンを押します。

- 1回押すと演奏中の曲を繰り返して演奏します。
CDディスプレイ中央の「.」表示が点滅します。
- 2回押すと全曲繰り返して演奏します。
CDディスプレイ中央の「.」表示が点灯します。
- 3回押すと通常の演奏になります。

《CDディスプレイ》



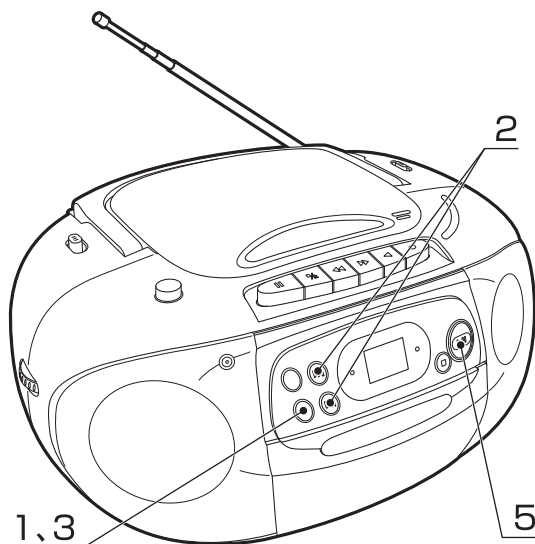
プログラム演奏

お好みの順番で演奏ができます。

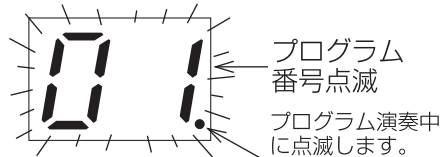
20曲まで自由に選曲できます。

1	停止状態で「プログラム」ボタンを押す。 プログラム番号が点滅表示されます。
2	「スキップ/サーチ(◀▶)(▶▶)」ボタンで曲番号を選ぶ。 曲番号が表示されます。
3	「プログラム」ボタンを押す。 プログラム番号が点滅表示されます。
4	2、3を繰り返し、2曲目以降をプログラムする。(最大20曲まで)
5	「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押すとプログラムした順に演奏を始めます。

- プログラム演奏を終了するにはCD操作部の「止める(■)」ボタンを押します。再びプログラム演奏をするときは再度「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押してください。
- プログラム演奏停止中に「プログラム」ボタンを押すと、プログラムした順番に曲番号が表示されます。
- プログラム内容はCDドアを開けるか、プログラム演奏停止中に「止める(■)」ボタンを押すと取り消されます。
※プログラム設定はCDのプレイヤーが停止している状態でのみ可能です。



《CDディスプレイ》



ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したディスク(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

CDディスプレイの表示について

- CDディスプレイに「H0」と表示される時は、次の項目を確認してください。

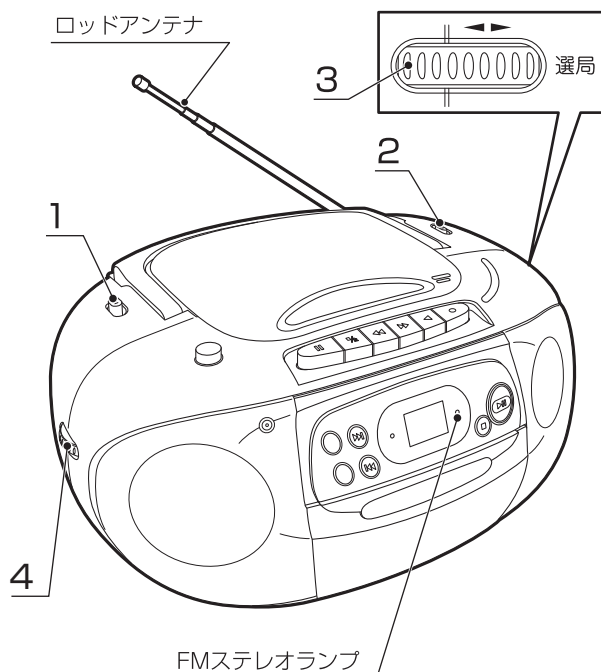
- ① CDディスクの裏表を間違えていませんか？
- ② レンズが汚れていませんか？→P.13参照
- ③ CDディスクがひどく汚れていませんか？

正常に作動しているときは……CDディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

ラジオを聴くには

- 1 「ファンクション」スイッチを「ラジオ」にする。
- 2 「バンド」スイッチで「FMステレオ」・「FM」・「AM」のいずれかを選ぶ。
FMステレオ放送受信時は、FMステレオランプが点灯します。
- 3 選局ダイヤルで聴きたい局を選ぶ。
- 4 音量ダイヤルで音量を調節する。

- ラジオを止めるには「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」にする。

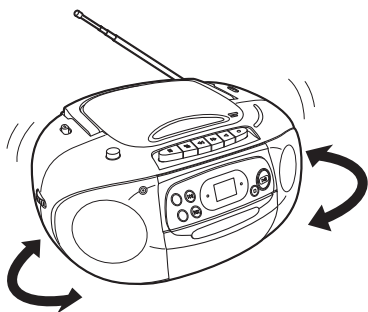


設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

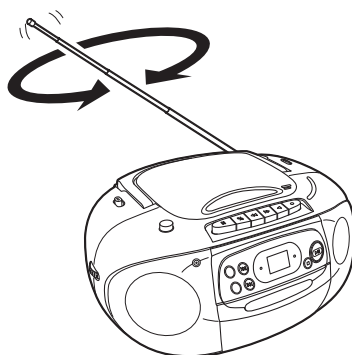
●AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



●FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



FMステレオ放送で
雑音が多い場合

「バンド」スイッチで[FM]に切り換える。
(ステレオになりませんが、聴こえやすくなる)
ことがあります。

ラジオを切る

「ファンクション」スイッチを
「テープ **電源切**」にする。

テープを聴くには

ノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。

1	「ファンクション」スイッチを「テープ 電源切」にする。
2	テープ操作部の「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押し、カセットホルダーを開き、カセットを入れてカセットホルダーを閉める。
3	テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンを押す。
4	音量ダイヤルで音量を調節する。

- テープを止めるときはテープ操作部の「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押します。
(一時的に停止させたいときは、「一時停止(⏏)」ボタンを押します。)
- テープを早く送るときは「すすめる(▶▶)」ボタンを押します。
- テープを巻き戻すときは「もどす(◀◀)」ボタンを押します。

《オートストップ機能について》

再生状態のときテープが最後まで巻き取られると自動的に「聴く(◀)」ボタンが復元し、電源が切れるようになっています。

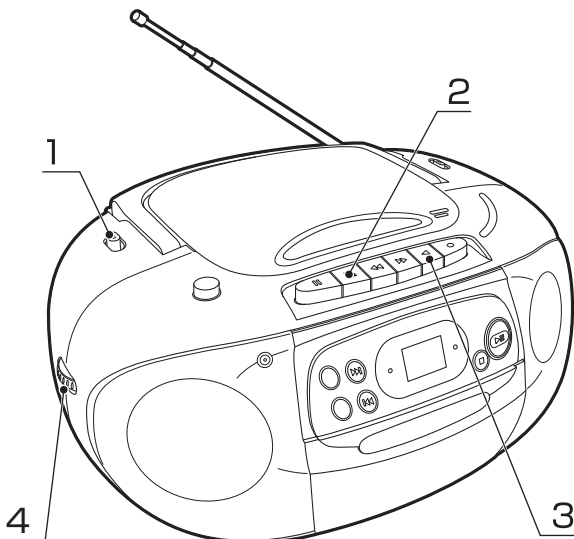
ご注意

「すすめる(▶▶)」ボタン、または「もどす(◀◀)」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押して解除してください。

《テープについて》

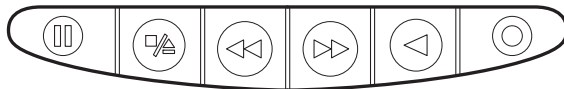
90分(片面45分)を超えるテープの使用はおやめください。他のテープに比べ非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれやすくなります。

- 使用前にテープのたるみを取り除いてください。テープが機械に巻き込まれることがあります。
- 録音にはノーマルポジションテープをお使い下さい。ハイポジション、メタルポジションテープでは、録音済みテープに録音すると、前に録音した内容が消去されず重なって録音されますので、再生しても正常に聞き取れません。また未使用のテープに録音しても十分に性能を発揮できません。



<テープ操作部>

一時停止 止める/取り出す すすめる もどす 聴く 録る



ご注意

カセットテープ自体の回転が重たい場合にはデッキのピンチローラーにテープが絡む場合がありますので次のような時にはご注意ください。

- ・カセットテープケースに歪みや変形がある場合
- ・長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
- ・寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体に結露した場合
- ・テープがひどく汚れ回転が重い場合など

すすめる(もどす)中に「聴く(◀)」ボタンを押さないでください。必ず「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押して解除してください。

録音するには

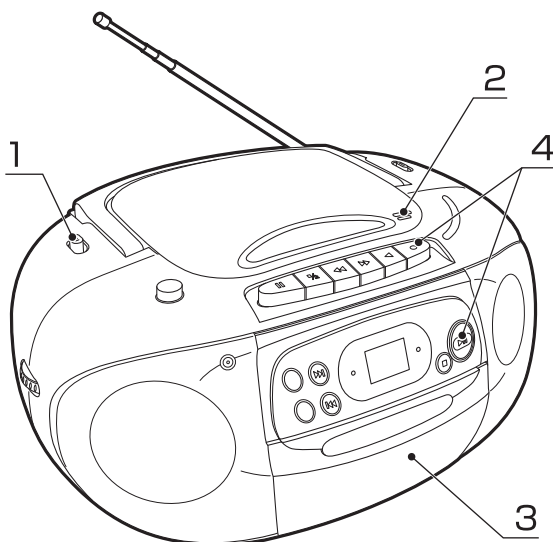
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断では使用できません。

ノーマルテープ（TYPE1）をお使いください。

CDからの録音

1	「ファンクション」スイッチを「CD」にする。
2	CDドアを開けディスクを入れる。
3	カセットテープを入れる。
4	CD操作部の「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押し、テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。

- 録音を止めるにはテープ操作部の「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押して、CD操作部の「止める(■)」ボタンを押します。
(一時的に停止させたいときは、「一時停止(||)」ボタンを押します。)
- 録音が終わったら「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」にして電源を切ります。



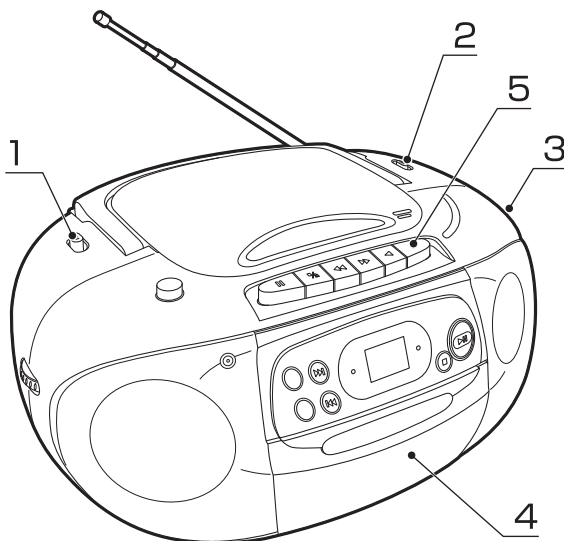
ご注意

「録る」ボタンを押すと「聴く」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープの消去防止用のツメが折れているとき、「録る」ボタンは押し込められません。無理に押さないでください。

ラジオからの録音

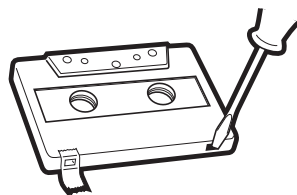
1	「ファンクション」スイッチを「ラジオ」にする。
2	「バンド」スイッチで「FMステレオ」・「FM」・「AM」のいずれかを選ぶ。
3	録音したい放送局を受信する。
4	カセットテープを入れる。
5	テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。 テープが走行し録音が始まります。

- 録音を止めるにはテープ操作部の「止める/取り出す(■/▲)」ボタンを押します。
(一時的に停止させたいときは、「一時停止(||)」ボタンを押します。)
- 録音が終わったら「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」にして電源を切ります。



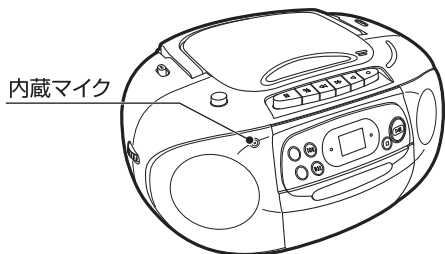
《録音済みのテープの誤消去防止のために》

カセットテープ背面にあるツメをドライバーなどで根本から折っておくと、録音操作ができなくなります。接着テープなどで穴をふさぐと再び録音することができます。

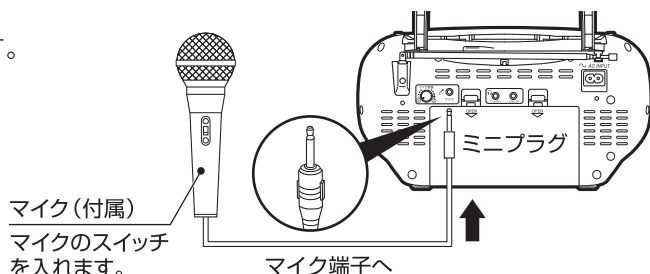


マイクの使いかた

- 本体背面のマイク端子にマイク(付属)をつなぎ、「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」に合わせ、「聴く(◀)」ボタンを押す、または「ファンクション」スイッチを「CD」に合わせます。
- ※カセットテープが無くてでも動作します。
- ※CD再生中でも、マイクを使うことができます。



内蔵マイク



マイク(付属)
マイクのスイッチ
を入れます。

マイク端子へ

マイク/内蔵マイクからの録音

- 1 録音可能なカセットテープを入れる。
- 2 「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」に合わせ、「録る(●)」ボタンを押して、マイク/内蔵マイクから録音する。

- スピーカーから録音中の音が出ます。
- 本体背面のマイク音量つまみでマイクの音量を調節できます。

ご注意

- マイクを使わない時は、マイクを外しておいてください。
- マイクを使用中、ハウリング(ピーという音)が起きたらマイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- 内蔵マイクから録音する時は、マイクに近づいて録音してください。マイクから離れすぎると、うまく録音されない場合があります。

CDとマイクからの録音

CDを再生しながらマイクからの音をカセットテープに録音できます。このときCDとマイクからの音がカセットテープに録音されます。

- 1 録音可能なカセットテープを入れる。
- 2 「ファンクション」スイッチを「CD」に合わせる。
- 3 CD操作部の「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押し、テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押して、マイクから録音する。

- スピーカーから録音中の音が出ます。
- 本体背面のマイク音量つまみでマイクの音量を調節できます。

他の機器とのつなぎかた

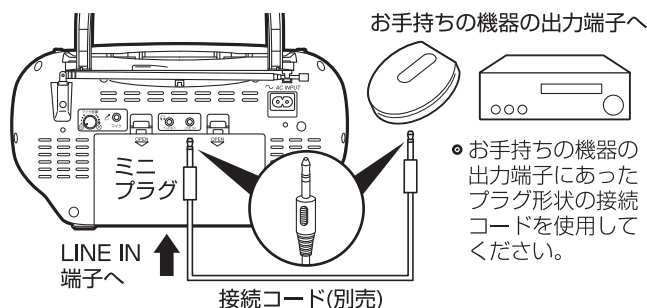
本体背面のLINE IN端子とお手持ちの機器の出力端子を接続コード(別売)でつないでください。

- 1 「ファンクション」スイッチを「CD」または「ラジオ」にする。
- 2 お手持ちの機器の演奏をはじめる。

- お手持ちのオーディオ機器の出力が小さく、音がうまく聞こえない場合があります。その時はそれぞれの音量で調節してください。

ご注意

- 本体側のLINE IN端子にコードが差し込まれたままになっていると、CDやラジオ等を聴くときにスピーカーから音が出ません。その時は本体側からのコードを抜いてください。
- お手持ちのオーディオ機器の出力が小さい場合、うまく録音できない場合があります。その時はオーディオ機器の音量を最大にするなど調節してください。



お手持ちの機器の出力端子へ

お手持ちのオーディオ機器から録音する

- 1 「ファンクション」スイッチを「テープ **電源切**」にする。
- 2 カセットテープを入れ、「録る(●)」ボタンを押す。
- 3 お手持ちのオーディオ機器の演奏をはじめる。

- 録音が終わったら、本機から接続コードを抜いてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

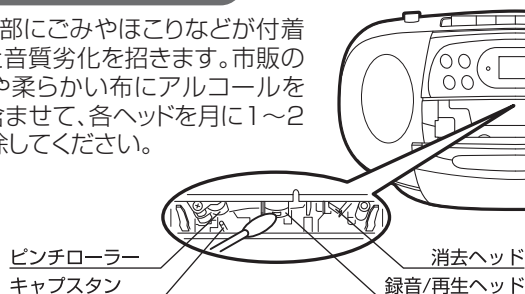
乾いた布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か、薄めた中性洗剤を布に含ませ、よくしぼってから拭いてください。
その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどではふかないでください。
本体をいためる原因となります。

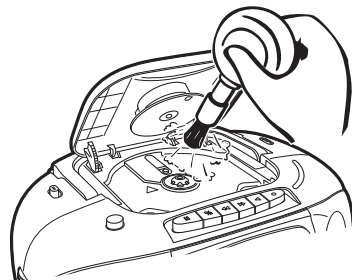
ヘッド部の掃除

ヘッド部にごみやほこりなどが付着すると音質劣化を招きます。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、各ヘッドを月に1~2回掃除してください。



レンズのクリーニング

- ごみやほこりがついた場合
市販のブロアーでレンズを2~3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみをはき出します。最後にもう一度、ブロアーでレンズを吹いてください。
※レンズ部には指紋や汚れをつけないようご注意ください。



仕様

受信周波数	FM : 76~90MHz AM : 522~1629kHz	電源	2電源方式 ● AC100V 50-60Hz (付属電源コード使用時) ● DC12V 単1形アルカリ乾電池×8本(別売)
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	テープ再生時 約81時間 (JEITA)
トラック方式	ステレオ		C D 再生時 約35時間 (JEITA)
スピーカー	8.9cm (8Ω) × 2個		ラジオ受信時 約133時間 (JEITA)
出力端子	ヘッドホン端子 (φ3.5mm) × 1	消費電力	11W
入力端子	マイク端子 (φ3.5mm) × 1 LINE IN 端子 × 1	最大外形寸法	約290(W) × 230(D) × 150(H)mm
実用最大出力	1.2W+1.2W (JEITA)	質量	約2.2Kg (乾電池を除く)
		付属品	マイク×1 電源コード×1 取扱説明書×1 保証書×1

●マイク SAD-M3仕様

出力インピーダンス	600Ω以下
周波数特性	100~10kHz
コード長	約2.5m

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	→ 乾電池は正しい方向で入っていますか？	→ 乾電池の＋－を確かめてください。
	→ 電源コードが抜けていませんか？	→ 確実に差し込んでください。
音が出ない。	→ LINE IN端子、ヘッドホン端子にコードが差し込まれていませんか？	→ コードを抜いてください。
カセットテープが入らない。	→ テープの向きは正しいですか？	→ テープを正しく入れてください。
「録る」ボタンが押しこめ ない。	→ カセットの誤消去防止用ツメが折れて いませんか？	→ ツメの折れていないカセットを使うか、接 着テープなどで穴をふさいでください。
テープの回転ムラがある。	→ 乾電池が古くなっていませんか？	→ 新しい乾電池をご使用ください。
	→ テープがたるんでいませんか？	→ テープのたるみを直してからカセット テープを入れてください。
	→ 巻きとりムラができていませんか？	→ テープを全部巻き直してみてください。
テープの再生音が悪い。	→ ヘッド部が汚れていませんか？	→ 市販の綿棒や柔らかい布でヘッド部を定 期的に掃除してください。(P. 13参照)
テープの再生音が歪む。	→ ハイポジション、メタルポジションテー プを使っていますか？	→ ノーマルポジションテープを使用してく ださい。
テープが巻きつく。	→ ピンチローラーやキャプスタンが汚れ ていませんか？	→ 市販の綿棒や柔らかい布を使って、ピン チローラー・キャプスタンを掃除してく ださい。(P. 13参照)
	→ テープがたるんでいませんか？	→ テープのたるみを直してからカセット テープを入れてください。
前の録音が消えない。	→ 消去ヘッドが汚れていませんか？	→ 市販の綿棒や柔らかい布で掃除してく ださい。(P. 13参照)
	→ ハイポジション、メタルポジションテー プを使っていますか？	→ ノーマルポジションテープを使用してく ださい。
CDの演奏が始まらない。	→ 乾電池が消耗していませんか？	→ 新しい乾電池と交換してください。
	→ CDの表裏を間違えていませんか？	→ ラベル面を上にしてください。
	→ レンズが汚れていませんか？	→ お手入れのしかたを参考にクリーニング してください。(P. 13参照)
	→ レンズに霧や水滴がついていませんか？	→ CDを取り出してCDぶたを開け、1時間 程置いてください。
	→ CDが汚れていませんか？	→ 汚れを落としてください。
CDが入っているのに 「H○」と表示する。	→ ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされてい ないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
	→ CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録 に使用したレコーダーの状態によって 再生できない場合があります。	→ ディスクを替えて試してください。
CDの音が飛ぶ。	→ 強い振動を与えていませんか？	→ 振動を与えないでください。
	→ CDがひどく汚れていませんか？	→ 汚れを落としてください。
	→ CDに大きな傷はありませんか？	→ CDを替えて試してください。
	→ 乾電池が消耗していませんか？	→ 新しい乾電池と交換してください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDステレオラジカセの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

受付時間：平日9:00～17:30
(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

2014年4月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)